

へいせい ねん ど だい かいかわさき く く みるかい ぎ ぶ かいてきろく  
平成25年度第1回川崎区区民会議みんなのまちづくり部会摘録

にち じ へいせい ねん がつ にち きん ご ご じ ぶん  
日 時：平成25年4月26日（金）午後6時30分

ば しょ かわさきく やくしょ かいがい ぎしつ  
場 所：川崎区役所7階会議室

しゅつせきしや けいしやうりやく  
出席者（敬称略）

いしん めい  
委員 9名

あいはらあきら あかまやすお あらいかざなり いわせきぬよ てらおういち とむらまさふさ ふじおかれい こ  
藍原 晃、赤間靖夫、新井一成、岩瀬絹代、寺尾宇一、戸村正房、藤岡玲子、  
よしのちさお よねやまみのる  
吉野智佐雄、米山 実

さんよ にん  
参与 0人

ぼうちやう にん  
傍聴 0人

かいがい  
1 開会

じむきょく  
(1) 事務局

かいぎ こうかい かいぎろく かいじ かいぎ きろく こうほう しゃしんさつえいとう せつめい  
・ 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明

ふくくちやう  
・ 副区長あいさつ

きたざわふくくちやう へいせい ねん がつついたちづ しゅうにん  
北沢副区長（平成25年4月1日付けで就任）のあいさつ

じむきょくじんじいどう ほうこく へいせい ねん がつ にちづ ふにん しんにんしゃ しょうかい  
・ 事務局人事異動の報告（平成25年4月1日付けで赴任した新任者の紹介）

かわさきく やくしょ きかく か やまがわ かちやう ほさ からさわかりちやう ねぎしよくいん  
川崎区役所企画課 山川課長 補佐、唐澤係長、祐宜職員

くみるかいぎやうんえいほじょいたくぎやうしゃしょうかい へいせい ねん だいたくぎやうしゃ  
・ 区民会議運営補助委託業者紹介（平成25年度委託業者）

かぶしきかいしゃ か い と きかくじぎやうぶ いわた  
株式会社カイト 企画事業部 岩下

はいふしりやう かくにん  
・ 配付資料の確認

ぶかいちやう  
(2) 部会長あいさつ

あいはらぶかいちやう しゅつせき しゃじ ふく かいがい  
藍原部会長から、出席への謝辞を含めた開会のあいさつ

ぎだい  
2 議題

ほうこくじこう  
(1) 報告事項

あ こんご しんぎすけじゅーる しりやう  
ア 今後の審議スケジュールについて（資料1）

しりやう もと こんご しんぎすけじゅーる あん じむきょく しめ しょうにん  
資料1に基づき、今後の審議スケジュール案が事務局から示され、承認された。

い かわさきしそごうと しこうつうけいかく しりやう  
イ 川崎市総合都市交通計画について（資料2）

しりやう しりやう しりやう もと かわさきしそごうと しこうつうけいかく  
資料2、資料2-2、資料2-3に基づき、川崎市総合都市交通計画の

ぱぶりっくこめんと くみるかいぎめいぎ ていしゅつ いけんしよおよ ないやう  
パブリックコメントに、区民会議名義で提出した意見書及びその内容が

どうけいかく はんえい かしよ じむきょく せつめい  
同計画に反映された箇所について事務局が説明した。

しつぎ いけんとう とく  
質疑・意見等は特になし。

## ウ 平成24年度川崎市津波避難訓練の実施結果について（資料3）

資料3に基づき、平成25年3月20日（水 祝）に、川崎市立臨港中学校、川崎市立大島小学校で行われた津波避難訓練の実施結果について事務局が報告した。

### ■主な意見等

事務局 想定の倍の参加者があり、関心の高さが伺えた。学校の屋上に避難する訓練の後、体育館に集合し、消防署職員から訓練の主旨、災害に備えた心がけ等の説明があった。

藍原部会長 平成23年度に大島地域で開催された訓練でも想定人数の倍近くの参加者があり、用意していた非常食の $\alpha$ 米が足りなくなるという一幕があった。杖をついた高齢者などの参加もあった。体育館でスライドを見るなど非常に有意義な訓練だった。訓練後、災害時を想定して一つの鍵で学校の全ての門が開けられるように鍵が変更された。

## (2) 審議事項

### ア コミュニティバス導入の促進について

#### 地域交通導入に関わる取組について（資料4）

資料4に基づき事務局から地域交通導入に関わるこれまでの検討経緯や検討課題、区民会議でできること等の説明があった。

### ■資料内容に追加された説明

- 第1期～3期の区民会議では高齢者外出支援の仕組みとして検討してきたが、第4期の検討からは、観光の促進など地域振興の視点も含めて検討してきた。
- コミュニティバスの運行には、地域住民による協議会の立ち上げが必要となるが、区民会議はそのまま協議会組織とは成りえない。
- 区民会議でできることのひとつは、既存のバス運営機関（市交通局、臨港バス株式会社）への路線設置（新設／既存路線の変更等）の検討の申し入れである。そのためには、具体的な路線案や需要の存在を明らかにする資料などが必要となる。

### ■コミュニティバス検討の進め方について（別紙資料）

別紙資料に基づき、戸村委員からコミュニティバス検討の進め方の案、新路線及び運営方式についての案の説明があった。

### ■討議結果

- 第4期区民会議の任期内で、既存ルートの変更路線案及びその需要根拠を示す資料を作成し、市交通局やバス事業者への打診を行うことを目標とする。  
〔地域交通の手引き〕取組手順のステップ2「既存交通手段及びシステムの

見直し」を目指す。)

・次回の部会会議で、戸村委員が作成したルート案をベースに、交通渋滞や既存路線との重複等を考慮した具体的な路線の検討を行う。

### ■主な意見

戸村委員 『地域交通の手引き』で取組手順のステップ2として示されている「既存交通手段及びシステムの見直し」を目指し、路線変更案の検討→案の作成までを今期の検討成果として目指してはどうか。

藍原部会長 川崎区内は交通の便が良いので、新路線は必要ないという意見もある。民間のバス事業者は、黒字見込みが立たないと参入しないだろう。

第3期からの検討課題なので、今期で決着をつけたい。

藤岡委員 第3期で実施したアンケートは、高齢者に対象を絞って実施した。

あれば乗ってみたい程度なのか、路線が本当に必要なのか、ニーズがどれくらいあるのかは不明だ。

赤間委員 市立病院へは川崎駅からのワンコインバスが運営されている。大師地区から区役所等にアクセスする場合、バスではなく京浜急行を使うルートもある。どのようなルートが有効でニーズが高いのか、検討が必要だ。

新井委員 コンパクトで分かりやすい路線を提案する必要がある。戸村委員提案のルートは追分の住民として乗ってみたいと思う。必要性や需要をもっと明らかにすることが今後の課題ではないか。

個人的意見としては、労働会館のところで曲がってしまわずに藤崎地域方面まで来て欲しいが、他の地域に住んでいる人はまた違った意見があるだろう。

寺尾委員長 ラゾーナ周辺は道路渋滞が多発する地域であり、そこを通る路線は現実的でないだろう。商工会議所で正月等に期間限定の路線運航やコストコのチケット配布などを行っていて好評だ。しかし恒常的な路線変更となると検討課題が残り、許可申請なども時間がかかる。大師地域も回るルートも検討してみたい。これなら実現できるのではないかという路線案が提案できるかどうか。戸村案の路線からラゾーナ周辺を削れば可能性はあるのではないか。

藍原部会長・寺尾委員長 小田栄循環路線など既存路線との重複も含めて検討が必要だ。

事務局 川崎区内には川崎市北部の一部の地域に見られるように、交通機関が全く無いような「交通不便地域」は存在しない。乗り継ぎ等はあるかもしれないがアクセス自体は確保されている。

コミュニティバスの実現のためには、その路線のニーズをより具体的に明らかにする事や、その路線を利用する地域の人たちによる協議会の立ち上げ

など具体的な運動を起こしていくことが第一歩になる。また、多摩区では協議会の立ち上げからルートの実現まで8年間かかった事例もある。実現までには時間がかかる。

吉野委員 かなり前の大川崎宿祭りのイベント開催中の三日間に期間限定100円バスを走らせたことがある（平成16年度に大師開帳に合わせて5月連休に期間限定で実施したもの）。非常に好評だったと記憶している。

藍原部会長・藤岡委員・寺尾委員長 戸村案をベースに既存ルートの変更案を検討し、市交通局に打診してみてはどうか。新規路線案は現実的ではないと思う。

事務局 具体的な路線ルートとその要望根拠、路線ニーズ等を示す資料が提出されれば、市交通局も検討する。

市バスの運営は、以前は赤字路線も市民ニーズが高ければ止む無しとのスタンスがあったが、近年の不景気や市財政の効率化により、全ての路線に黒字経営が求められる時代になった。ただし採算面よりも政策面からの判断で路線の変更が行われる場合もある。例えば、東扇島へのJ P（日本郵便）の移転に伴い、海底トンネルが一本しかない現状下での自家用通勤車の増加は周辺道路の大混雑を招く恐れがあるため、近隣交通システムの維持のためにバス路線増設が決定された。

コミュニティバスを実現させるには、乗客を限定する方式もある。井田病院行きのシャトルバスでは乗客を病院利用者に限定し、往路の途中下車は認めない形で運行されている。

また、既存の貨物線路を活かした臨海部を運行する鉄道案については、駅舎などの設置に初期投資だけで300億円かかるという試算があり、現実的でないだろう。

## イ 地域で身近な防災力について（資料5）

資料5に基づき、事務局が課題解決策の検討例を説明した。

### ■資料内容に追加された説明

- 防災出前講座の講師は、企業や消防署からの講師を想定している。町会への周知、受付窓口の整備などを進めたい。
- 災害時の要援護者の把握・登録については、横浜市は半強制的に情報を吸い上げているのに対し、川崎市は要援護者本人の挙手制となっている。また要援護者だけでなく、地域で援護を提供する側の人材確保が大きな課題となっている。

### ■討議結果

ぼうさいくんれん すいしん たいしやう かくだい がいこくじんとう けんとう すず つなみひなん  
・防災訓練の推進…対象の拡大として外国人等の検討を進める。また津波避難  
くんれん じっしちいき かぎ よこくこうほう じ ごほうこくこうほう ひろ おこな  
訓練について、実施地域に限らず予告広報、事後報告広報を広く行うことへ  
ようぼう だ  
の要望が出された。

ぼうさい いしき ふか りんかいぶ すず きぎやう あんぜん たいさく れんけい  
・防災意識を深める…臨海部で進められている企業の安全対策や連携・  
る ー る どう くみん し ぼうさいでまえこうぎ かいさい すいしん  
ルールづくり等について、区民に知ってもらう防災出前講座の開催を推進す  
る。

さいがいじ ちいき たいおうきやうか さいがいじ ようえんごしや しえん にな てかくほ かいだい  
・災害時の地域の対応強化…災害時に要援護者を支援する担い手確保を課題と  
けんとう すず  
し、検討を進める。

かいぼつひやうじ へいせい ねんどない ていあん たい と く けいか  
・海拔表示について…平成24年度内にまとめられた提案に対する取り組み経過が  
ほうこく ちょうかいけいじばん ふれ ー むぶぶ せつち か こくごひやうじ くみんかいぎていあん  
報告され、町会掲示板のフレーム部に設置する3カ国語表示、「区民会議提案」  
とう きさいい ふく ひやうじきん ぶる ていじ  
等の記載も含めた表示サンプルが提示された。

## ■主な意見

あいはらぶかいちやう ちょうかいかにゆうしや げんしやう なか さいがいじ じんざいかくほ おお かいだい  
藍原部会長 町会加入者が減少している中、災害時の人材確保は大きな課題  
わたし ちいき ちゆうこうせい きやうりよく いらい  
だ。私の地域では、中高生にも協力を依頼している。

よしのいいん くみんかいぎていあん きさいい くみんかいぎ にんちこうじやう  
吉野委員 区民会議提案と記載されたのは区民会議の認知度向上につながる  
かんが よ もじさいいず すこ おお さら よ  
と考えられて良いが、文字サイズがもう少し大きいと更に良かった。

じむきよく こうかてきせつちすう きぞん けいじぶつ すべーす か あ どう こうりよ  
事務局 効果的設置数や既存の掲示物とのスペースの兼ね合い等を考慮し、  
ちょうないかいけいじばん ふれ ー むぶぶぶん せつちあん ごういけいせい すず ていじあん  
町内会掲示板のフレーム部分への設置案で合意形成が進められた。提示案の  
さいいず けいさいないよう なか ていあんないよう かのう かぎ も こ あん  
サイズ、掲載内容はその中で提案内容を可能な限り盛り込んだ案である。

とむらいいん しんすいしん ことば した かん すこ き  
戸村委員 「浸水深」という言葉にあまり親しみがないように感じ、少し気  
なる。

あいはらぶかいちやう ひなん ぼしよひやうじとう けんとう ちず い けいさい  
藍原部会長 避難場所表示等も検討してみたい。地図まで入れると掲載  
すべーす おお ほうこう しめ でんちゆう  
スペースが大きくなってしまいうので、方向だけでも示せないか。しかし、電柱  
とう せつち ゆうりよう むずか  
等への設置は有料となり難しい。

じむきよく か こ つなみひなんくんれん ちいき がいこくじんじゅうみん すがた み  
事務局 過去の津波避難訓練では地域の外国人住民の姿が見られなかった。

がいこくじん あつ ひなんくんれん けんとう  
外国人を集めた避難訓練を検討したい。

さいがいじ にな てぶそく もんだい げんえきせだい ちょうないかいかにゆうそくしん かぎ  
災害時の担い手不足の問題については、現役世代の町内会加入促進が鍵に

なるのではないか。共働きの夫婦は帰宅困難者になれば、その子どもは  
ともばたら ふうふ きたくこんなんしや こ  
要援護者になる。加入メリットをきちんと説明すれば、入ってくれる方も

ようえんごしや かにゆう めりつ と せつめい はい かつ  
増えるのではないか。中高生世代は確かに戦力になるが、学校在学時に災害

ふ ちゆうこうせいせだい たし せんりよく がっこうざいこうじ さいがい  
が発生した場合、生徒は学校にとって保護対象となるので、地域の防災活動

はっせい せいと がっこう ほ ごたいしやう ちいき ぼうさいかつどう  
が支援する状況ではないと考えられる。

しえん じやうきやう かんが  
藤岡委員 津波避難訓練の平成25年度の実施予定は決まっているのか？

ふじおかいいん つなみひなんくんれん へいせい ねんど じっしよてい き  
事務局 平成25年度は新たな地域で実施予定であり、現在地元町会や学校等

じむきよく へいせい ねんど あら ちいき じっしよてい げんざいじもとちやうかい がっこうとう  
と調整中である。実施が正式に決まれば当該地域に町会等を通じて広報

ちやうせいちゆう じっし せいしき き とうがいちいき ちょうかいとう つう こうほう  
と調整中である。実施が正式に決まれば当該地域に町会等を通じて広報

する。  
吉野委員 よしの いいん その地域の人に限らず予告広報、事後報告広報をお願いしたい。  
区民全体の防災意識も高まるだろう。  
ちいき ひと かぎ よこくこうほう じ ごほうこくこうほう ねが  
くみんぜんたい ぼうさいいしき たか

午後8時30分閉会  
ごご じ ぷんへいかい

以上  
いじょう